

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

メルマガ「関西フェニックス通信」

NO.16 (2012年10月1日)

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

「広島大学関西フェニックスの会」は、関西在住の広島大学の卒業(修了)生が、異業種交流を進めるとともに、広島大学の広報や学生の就職活動等を応援するために、広島大学の教職員や卒業(修了)生との連絡を密にして、相互の理解を深め、広島大学の事業活動をボランティア的に応援する組織として活動することを目的として、平成20年12月6日に設立されました。

上記の目的を達成するためには、広島大学の卒業(修了)生が広島大学の教職員や在学生との交流を促進することが不可欠なことから、本会の事務局を担当するキャリアセンターが広島大学の事業活動に関する最新情報や、卒業(修了)生の皆さんの活動をご紹介し、お互いに情報交換していただくことを目指して、メールマガジン「関西フェニックス通信」を発行しています。会員及び関係者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【お問合せ先】

広島大学関西フェニックスの会事務局

東広島市鏡山1-7-1 (〒739-8514)

広島大学キャリアセンター気付

TEL : 082-424-6986

FAX : 082-424-6989

E-mail : career-group@office.hiroshima-u.ac.jp

URL:<http://www.hiroshima-u.ac.jp/kansai-fc/2>

■ 「関西フェニックスの会」の24年度例会が開催される!

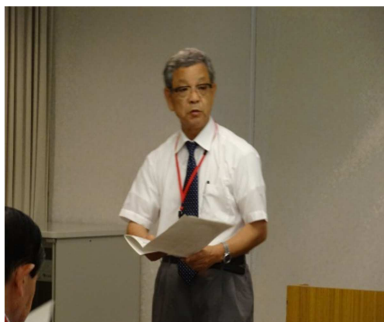
去る9月8日(土)に、広島大学関西フェニックスの会の例会が、新大阪ステーションホテルアネックスにおいて開催されました。

(例会17:20~17:55 講演会18:00~19:20 懇親会19:20~)

(豊高会長)



(川崎副学長兼センター長)



(香川校友会事務局長)



昨年は台風のため、やむなく中止になりましたが、今年度は広島大学原爆放射線医学研究所長の神谷教授の講演会も併せて開催され、充実した会となりました。

例会では、まず、豊高会長から開会の挨拶そして24年度事業計画および新規会員加入・会員数の状況について説明・報告があり、異議なく承認されました。

続いて、川崎副学長（キャリアセンター長兼務）から挨拶ならびに平成23年度卒業生の就職状況（昨年度より就職率アップ）を中心に、センターの活動報告がありました。

最後に、校友会の香川事務局長から、校友会の会員数・活動状況（事業は、在学生に対する支援を中心に実施している等）の説明、ならびに来月の11月3日（土）に開催されるホームカミングデーへの積極的参加と校友会入会勧誘の協力についてお願いがありました。

例会終了後、神谷教授による講演会（概要は後述）、そのあと懇親会（出席者16名）が行われました。

1. 平成24年度事業計画について

(1) 会議・行事

- ・例会（総会） 平成24年 9月8日（土） 17:20～21:00
- ・ホームカミングデー 平成24年11月3日（土） 10:00～17:00
- ・就活支援バスツアー 平成24年12月15日（土） 18:30～20:30
卒業生との懇談会
- ・定例第2回役員会 平成25年 3月2日（土） 12:00～14:00

(2) 主な実施事業

① 教育目標達成に係る事業

広島大学キャリアセンター 森 教授の授業「職業選択と自己実現」において講義を担当。（前期、斉藤副会長が、後期は中村副会長が担当の予定）

なお、来年度以降は講義の講師を、広く会員から募集する予定。時期を観て募集案内を発信する。積極的な応募を期待。

② 募集力アップのための事業

6/24(日)の入学センターの広島大学説明会神戸会場に会員が(豊高会長が出席)、ボランティアで、高校生や保護者からの進路等の個別相談に応じる。

③ 就職活動支援事業

12/15 就活支援バスツアーにおける参加学生と卒業生との懇談会実施を支援する。今年度計画では、募集学生の数を大幅に増やし、100名程度の参加を見込んでいようなので、後輩を励ますため、会員、広大卒業生の積極的な参加を呼びかける。

④ キャリアアップ支援事業

公開講座等における講演の実施 (今年度は原爆放射線医科学研究所長 神谷教授による講演実施)

⑤ 会員相互の親睦・教養の向上推進事業

例会を開催し、会員相互の親睦を深める。

⑥ 母校訪問事業

11月3日(土)開催のホームカミングデーへの積極参加

東広島キャンパスにて、9:30受付開始、10:00入場開始、

10:30オープンセレモニー 11:00～講演会

詳細は校友会のホームページ参照

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/>

⑦ 会報発行事業

メールマガジンを今後も継続して発行する。

⑧ 会員拡大の取り組みについて

今年度新規入会2名、現在会員数59名、引き続き、各会員による学生時代のクラブ、サークル、学部同窓会での呼びかけ等を通じて、会員拡大に努める。

2. 講演会「福島原発事故の健康影響と復興支援について」

講師：広島大学原爆放射線医科学研究所所長 神谷 研二 教授



(講演概要)

昨年3月11日に東日本大震災があり、福島原発事故が発生した。国の緊急被ばく医療体制の中で、広島大学は、西ブロックの3次被ばく医療機関（重症の患者を治療する拠点の医療機関、東ブロックは放射線医学総合研究所）に選定されており、12日には、いち早く緊急被ばく医療チームを結成し現地へ派遣するなど、福島の県民の皆さんの安全・安心を守るために、これまで千人以上のスタッフが積極的な支援活動を行っていることを、まず皆さんに紹介された。

続いて今回の原発事故による被ばくの形態や健康への影響状況について、放射能・放射線の基礎知識の説明も交えながら、分かり易く話された。

今のところ、重症の患者さんは発生していないが、被災地の皆さんの健康を守るためには全県民の健康調査を行うとともに、それとリンクした健康ケアのプログラムを実施していく必要がある。またモニタリングセンターを設置する等、被ばく線量の管理システムの整備や、被ばくの軽減・防止のための汚染土の除去ならびに住民・行政・専門家が情報を共有化し、一体となって取り組むことができる「健康地域協議会」の設置等が必要かつ重要であると強調された。特に講演の中で、今回の事故による住民の健康影響の調査や対策を考える上で、チェルノブイリの事故および原爆を経験した広島・長崎の被ばく者の方々の犠牲のもとに得られた貴重なデータや知見が役立てられていると話されたことが印象深かった。

関心はあっても、放射能・放射線の話となると、素人には理解が難しいテーマであるが、お話の中で専門用語等、基礎知識についても説明があり、具体的なデータのグラフや写真を示しながら、分かり易くお話をして頂いたので、とてもよく理解できたと、出席者の皆さんから好評をいただいた。

[*神谷教授は、本年度の防災功労者内閣総理大臣表彰を受けられました。]

3. 懇親会

講演会終了後の懇親会では、神谷教授、香川事務局長にもご参加頂き、和やかな雰囲気の中、各席とも話が弾み、会員相互の交流を一層深めることが出来ました。



[活動報告]

■ H24年9月8日（土） 平成24年度第1回定例役員会 （16:40～17:10）例会前に開催

出席者：豊高会長，斉藤，中村各副会長、井上、井場、丸岡各幹事、西川顧問、
事務局：川崎事務局長（キャリアセンター長）、金子リーダ，旭爪
（審議事項）新規会員2名の加入を承認。（確認事項）今年3月の役員会で承認された平成24年度事業計画の内容を確認するとともに計画に関わる事項について意見交換を行った。

■ H24年7月2日（月） 斉藤副会長が、広島大学で特別講義 森教授担当の「職業選択と自己実現」前期の1コマを担当

大学卒業後勤務した金融機関における職務内容や社会の変化について分かり易く説明。それらを通して考えたことや、学生へメッセージを送った。



- H24年6月24日（日）神戸での入学センターの説明会へ協力参加
三宮研修センターで行われた広島大学説明会に豊高会長が出席。当日13：15から、会場にて、関西地区在住・在勤の卒業生として、ボランティアでブース参加に協力し、高校生や保護者からの進路等の個別相談に丁寧に対応した。

~~~~~  
(事務局より)

24年度例会も会員の皆さまのご協力が無事済ませることが出来ました。  
24年度事業計画に記載しておりますが、以下の行事が予定されています。  
ご参加ご協力を宜しくお願いいたします。

- 11月3日（土）東広島キャンパスで、開催されるホームカミングデーに、ご都合が宜しければ、是非ご参加下さい。

9：30 受付開始、 10：00 入場開始  
10：30 オープンセレモニー、 11：00～講演会  
詳細は校友会のホームページをご覧ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/>

- 就活生と関西在住の卒業生等との懇談会を今年も開催します。

日時：12月15日（土）18：30～20：30

場所：ホテルサンルート梅田（大阪駅より徒歩約10分）

会費：一人3,500円

日程が近づきましたら、またご案内しますので宜しくお願いします。

（昨年12月の懇談会写真）

